指定管理者制度管理運営評価シート

施設名称	山熊田長期滞在施設	評価対象年度	平成　26　年度
指定管理者名	山熊田集落	所管課	山北支所産業建設課
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日（5年）	評価者（課長）	横山　政信

①事業実績

利用実績	142人
サービス向上の取り組み	害虫対策には特に留意し、自然の楽しみ方、四季折々の良さなどの情報提供を行っている。

②管理経費　　（単位：千円）

区分		前々年度（24年度）	前年度（25年度）	当該年度（26年度）	合計	備考
収入	指定管理料	227	228	225	680	協定額：1,125,000円
	利用料金	251	222	227	700	
	自主事業収入					
	その他					
	計	478	450	452	1,380	
支出	管理経費	427	464	464	1,355	
	（うち人件費）	193	175	193	561	
	（うち光熱水費）	138	145	147	430	
	（うち修繕費）	15	33	5	53	
	（うち委託料）	80	80	83	243	
	自主事業費	50			50	
	計	477	464	464	1,405	
差引		1	▲ 14	▲ 12	▲ 25	

③評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
管理運営基本方針	基本方針の理解・周知	公の施設としての性格や管理運営の基本方針を理解し、利用者やスタッフへ周知しているか 利用者の立場に立ち、公の施設として市民の平等な利用を確保する運営を行っているか	10	3	6.0
	（評価理由） 施設の設置目的に沿い、公の施設として幅広く利用されている。				
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や事業計画に基づいて適切に提供されたか サービス向上、利用促進への具体的な取り組みがされているか 利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか	10	4	8.0
	業務改善によるサービス向上	事業計画とサービス提供に差異が生じている場合、原因究明に必要な取り組みがなされているか 業務改善が必要な場合、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われ、効果が表れているか	10	3	6.0
	利用者の意見・要望への対応	利用者アンケート等を適切に実施・分析し、利用者ニーズの把握に努め、満足度向上のための具体的な取り組みに反映してさせているか 利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか	8	3	4.8
	自主事業の実施状況	利用者へサービス向上につながる自主事業を実施しているか 利用者のニーズを踏まえた自主事業を実施しているか	4	1	0.8
	（評価理由） 利用者との会話等によりニーズの把握に努めるとともに、要望等に対応したサービスを行っている。 施設の性質により、自主事業は行っていない。				
収支計画・実績	効果的・効率的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか 支出に見合う効果は得られているか 経費縮減の具体的な取り組みはされているか	10	3	6.0
	適切な会計管理・手続き	収入金を区分し、適切に管理を行っているか 指定管理業務に関して口座を分け、適正な会計処理がなされているか	8	3	4.8
	（評価理由） 積雪量の多い地域に位置しており、雪下ろし等の作業は直営で実施しているほか、利用者にも節約への協力の呼びかけを行い、経費縮減を図っている。				

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
組織管理体制	適切な人員配置	必要な人員（人数･有資格者等）が必要な場所に適切に配置されているか	4	3	2.4
	連絡･連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡･連携が十分に図られているか	4	3	2.4
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜･適切に行われ、業務の履行についても適切な監視･確認がなされているか	4	3	2.4
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、コンプライアンスに関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	4	3	2.4
	安心･安全への取り組み	事件･事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか（人員配置、マニュアル、訓練等）	4	3	2.4
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令順守のルール（規則･マニュアル等）と管理･監督体制が整備され、適切な運用がなされているか	4	3	2.4
	（評価理由） 利用者に防災等に関する呼びかけを積極的に行うなど、防災に関する意識は高い。個人情報保護等の管理についても意識高揚に取り組んでいる。				
適正な業務実施	施設･設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設･設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	8	3	4.8
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件･事故、犯罪等の未然防止に役立っているか	4	3	2.4
	備品管理	設備･備品の整備や整頓、利用者使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	4	3	2.4
	（評価理由） 施設の老朽化が進んでいる状況であるが、適正な維持管理を実施している。				

④総合評価

評価点合計	60.4	評価ランク	B

⑤管理運営に対する全体的な評価

他地域からの利用者が多く、交流人口の拡大に貢献している。施設の老朽化が進んでいる状況の中で、適正な維持管理を実施しており、雪下ろしなどの施設管理については、集落住民全体で取り組む姿勢となっている。

⑥次年度の管理運営に対する指導事項等

施設管理については適正な対応がされており、丁寧な対応等により利用者の満足度も高く、リピーターも多い。施設の老朽化が進んでいるため、安全安心の確保に努め、今後も身近で利用しやすい施設運営を行っていくことを期待します。

記入要領

・「評価段階」は5段階（5～1）により評価を行うこと。

・「評価点」は、配点に以下の評価段階による係数を乗じて算出すること。

評価段階	評価点係数
5	1.0
4	0.8
3	0.6
2	0.4
1	0.2

・「評価ランク」については、評価点合計により以下のとおりとする。

評価ランク区分

S　95.0以上

A　80.0以上95.0未満

B　60.0以上80.0未満

C　60.0未満